

令和7年度「海峡あじさい俳句大賞」

最優秀賞

紫陽花や 石碑の校歌 灯しけり

福本波津子

誰もが見たことのあるような光景を詠んだ句ですが、却つてそのノスタルジックな雰囲気心地よいです。「石碑」ではなく、「校歌」を紫陽花が灯すというのもいいですね。

長府庭園賞

あじさいが 話題をくれる 老デート

松本俊彦

若いころと違つて、それ相応に歳を重ねてからのデートのぎこちなさや少し心許ない感じが紫陽花によつて救われているのでしょう。少しわかるような気がします。

白野江植物公園賞

あじさゐに さびしさ告げよ 迷ひ猫

吉武 渉

「迷ひ猫」は飼い猫が脱走したのか、野良猫が迷つてきてしまったのか。華やかな紫陽花と不安定な猫の取り合わせが何ともいえません。

水無月賞

菖蒲剪る 外科医の父や ぎこちなく

中川枕流

外科医のお父様は職業柄きつと手先が器用な方なんでしょうね。でも、花の扱いは勝手が違つて別のようなですね。微笑ましさも感じらるれ句です。

紫陽花の 小径よ痴呆の 夫の笑み

中原八千代

色んなことが曖昧になりつつあるパートナーだけれど、紫陽花の咲いている辺りを散歩する時は笑顔がでるのかな？日常生活の中の少しほつとする時間かもしれないですね。

端座して 来し方思う 半夏生

鷹尾

今まで自分が過ごしてきた日々を姿勢を正して思うというのは、ある程度経験を積まれた方にしかわからない心境でしょう。

紫陽花や 打ち明けるのは 明日かな

山田煌空

「かな」は切れ字というより自分自身への問いかけの意味で使われていると取りました。何を打ち明けるのかわかりませんが、簡単には言えないことだということだけはわかります。 何

あじさいの まわり集まる 音色たち

清水桃香

紫陽花と雨音の取り合わせはよく詠まれています。この句の「音色」はもつといろいろな色を連想させます。そして音色に色がついているようでもあります。

紫陽花の 小径ここより 傘は閉づ

池田玲

雨に濡れるのも厭わず紫陽花を觀賞しながら小径を歩く姿が目には浮かびます。傘を閉じないと歩けないくらい細い道、というより紫陽花をよく見たいからでしょう。か。 傘を閉じない

紫陽花や 晴れたら好きと 言ってみる

観波

「好き」と言うのに何かきつかけが欲しかったんでしょ。ね。 明日晴れたらいいですね。

それぞれの 推しの紫陽花 植物園

くう

「推し」という新しいことばと植物園が意外にマッチしています。いろんな紫陽花が咲いていて、それぞれに好きな紫陽花があつて、それに会いに行く、と考えると楽しいですね。

濃紫陽花 ふたりに小さき 傘ひとつ

松田敏江

急に雨が降ってきたのでしょうか。二人で入るには小さいサイズの傘ですが、距離は縮まりますよね。それを見守る紫陽花が在って素敵な光景です。

田中恭司

「今年は梅雨の期間がとても短かったですね。紫陽花にも辛い日々だったのでないでしょうか。」「無表情」が効いています。

【選句にあたって】

今年も三百句を超えるたゞさんの投句をありがとうございました。毎年、どんな句に出会えるかなと楽しみに選句させていたでいます。今回も多くの素敵な句との出会いがありました。賞の数は決まっていますので、悩みに悩んで選句させていただきました。まず、いいなと思つた句でも類想類句やテーマに沿つていない句は避けました。今回は似ている句が例年より多かつたように思ひます。また、発想はとても素晴らしいのですが、定型から大きく逸脱している句も避けました。語順を入れ替へるととても良くなる句も幾つかありました。本当に惜しい！と思ひます。語順を入れ替へるととても良くなる句も幾つかありました。みなさんの句を読ませていたでいて、私もとても勉強になりました。数多くの投句も励みになります。なにより、このような機会を与えてくださつた長府庭園様、白野江植物公園様に心から感謝申し上げます。投句してくださつたみなさま、主催者のみなさま、本当にありがとうございます。

内野聖子